

旭川駅周辺かわまちづくり計画（素案）概要版

■計画の策定にあたって

JR旭川駅前から繋がる平和通買物公園周辺を含む中心市街地は、郊外型商業施設等の出店が相次ぎ老舗百貨店が閉店するなど、相対的に本市における中心性が低下してきていましたが、昭和60年代に旭川市中心市街地の将来像について検討がなされ、現在、JR旭川駅の南側に「あさひかわ北彩都ガーデン」等が整備され、北側に駅直結のショッピングモールがオープンするなど、近年人気観光スポットとして一気に魅力が増しています。そこで、JR旭川駅を拠点として、市内に分散している観光・アイヌ文化教育の拠点となるエリア、常磐公園や旭川市科学館などの拠点となるエリアを「かわ」でつなぐことにより、新たな観光動線の創出やエリア間の観光客流動の活発化に伴う広域的な観光振興や活性化を一層推進することを目的として「旭川駅周辺かわまちづくり計画」を策定するものです。

■水辺とまちづくりに関する基本方針

本市が北海道内の広域基幹サイクリングルートを中心に位置している特性を踏まえ、JR旭川駅南側地区を拠点として、忠別川・牛朱別川の地域資源を活かした水辺整備・利活用による観光・教育・スポーツなどを通じた新たなまちの賑わいづくりを目指します。

河川空間とまち空間をつなぐ良好な空間形成を基本理念として、観光動線の形成による忠別川・牛朱別川における新たな観光価値の創出、自然豊かな市民の憩いの場の創出と郷土愛の醸成、都心空間の整備と回遊性の向上による関係人口・交流人口の拡大を推進し、本市の地域活性化に寄与することを目指します。

■利活用方策

地域のニーズに沿ったソフト施策を実施し、地域に愛され観光客等の外部の人間にとって魅力的な「かわまち」を目指します。

- ①水辺を周遊する広域的なサイクリング・フットパスコースの設定
- ②忠別川・牛朱別川の水辺空間での新たなイベント・アウトドア利用の企画
- ③冬のアクティビティプランの設定
- ④水辺空間を活用した環境教育の推進
- ⑤ICTを活用した情報提供

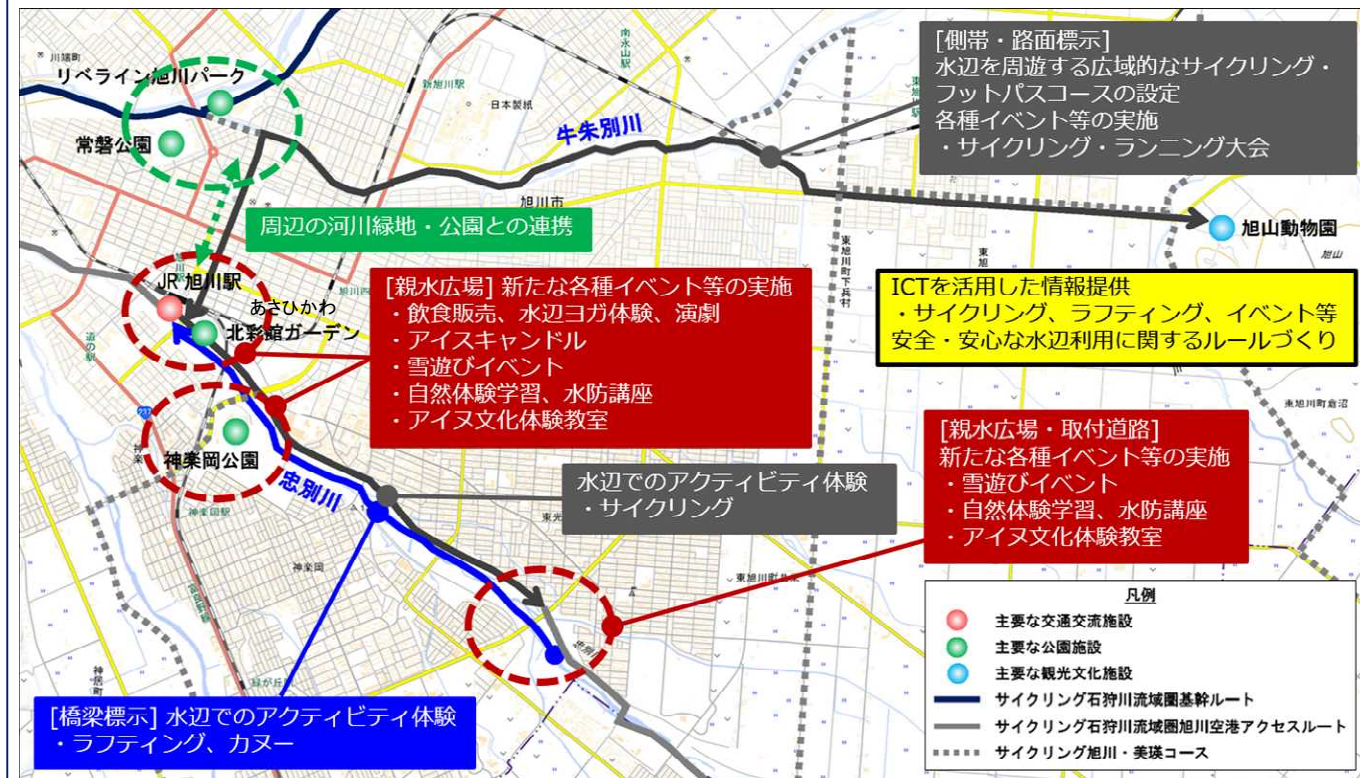
■整備方策

水辺とまちをつなぐ人の流れや河川空間の賑わいを創出するため、河川管理者と連携して、忠別川・牛朱別川の水辺整備を実施します。

- ①忠別川の水辺整備（親水広場，取付道路，橋梁標示）
- ②牛朱別川の水辺整備（側帯，路面標示）
- ③忠別川への周遊コース案内看板の整備（水辺～JR旭川駅～旭山動物園等の観光拠点施設をつなぐ観光周遊コースへ案内・誘導する看板）



■忠別川・牛朱別川の水辺空間における利活用・整備イメージ



※今後、実施のための詳細な検討や設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

※下図は整備イメージです